

1/30

電気自動車を「走る電源」に 災害時の連携協定を締結

災害時の電力供給体制の強化を図るため、日産プリンス広島販売株式会社と災害時等における電気自動車等に関する連携協定を締結しました。

大規模な停電が発生したときに、市の要請で同社が所有する電気自動車、電力供給に必要な外部給電器が無償で貸与されます。それらで避難所などの発電機を補完することができます。

市では、夜間照明、スマートフォンの充電などに利用できる「走る電源」として、大いに活躍してくれると期待しています。

日産自動車グループは全国の自治体と同様の協定を結んでおり、県内では2例目となります。



▲電気自動車から電源を利用する様子

2/1

中学校 はつかいち駅伝大会開催

「中学校はつかいち駅伝大会」が開催され、男子20校、女子16校が出場しました。市内外から集まったランナーたちがタスキを繋ぐ中、廿日市市の中学校がすばらしい成績を収めました。

男子の部では、大野東中学校が大会新記録で見事優勝。また、野坂中学校も堂々の2位に輝き、地元勢がワンツーフィニッシュを飾りました。

女子の部でも、大野東中学校が最後まで粘り強い走りを見せ、準優勝。

寒さを吹き飛ばすような中学生たちの熱い走りに、沿道からも大きな声援が送られました。



▲女子スタートの様子



▲男子の部優勝の大野東中学校

2/8

広島東洋カープ 宮崎キャンプ激励訪問

広島東洋カープのシーズンの必勝を願い、市長らが宮崎キャンプを訪問しました。

キャンプ地では、シーズンに向けて懸命に練習に励む選手・コーチ・スタッフの皆さんにエールを送り、激励品を贈呈しました。皆さんとは、今後も継続的な連携強化を図っていくことを話しました。

激励品として、廿日市市の特産品である、はつかいちサンブレイズが育てたいちご、吉和米、大野あさり、香り舞茸とあわび茸のセット、広島サーモンを贈呈し、本市の魅力や地域資源をPRしました。



▲新井監督へサンブレイズのいちごを贈呈する様子

2/8

被爆アオギリ二世 移植セレモニー

平成25年に市役所敷地に植えた被爆アオギリ二世を、山崎本社 みんなのあいプラザ前に植え替え、お披露目のセレモニーと記念講演会を開催しました。

当日は、あいにくの雪模様でしたが、ゲストに招いた広島東洋カープ元選手の安部友裕さんと市内の女子軟式野球チーム広島レディースの三浦日和キャプテンが、元気に移植作業を行いました。

この木が多く市民から愛され、非核と平和のシンボルとして市民を見守り、平和の大切さを未来へつなげていくことを願っています。



▲植樹作業をする安部さんと三浦さん

植樹の様子はこちら▶



2/23

吉和で大発見！ 太古のロマンに思いを馳せて

冠遺跡群の発掘調査報告会が開催されました。1,000人を超える参加者が、今回見つかった石器の話に耳を傾けました。

発掘された石器は約4万2,300年前のものだと判明しており、人類が日本列島にやってきた時期の通説を大きくさかのぼる可能性があります。

奈良文化財研究所の国武貞克主任研究員は「見つけた時は本当に驚きました。列島最古の人類は、環境のよい廿日市を選んだ」と話し、皆さんは感嘆の声をあげていました。また、会場に展示された石器の前には、ひと目見ようと大勢の人が集まりました。



▲「驚きが大きすぎて眠れない日が続いた」と石器を手話で話す国武主任研究員